

## 関東甲信越地方向け基本方針

- 関東甲信越地方の各放送局は、地域の安全・安心を守る正確な情報をお届けします。緊迫する国際情勢は、物価高やエネルギー問題となって地域の生活に大きな影響を与えています。不安が高まる治安への対応やウィズコロナの暮らし方も問われています。地域社会から求められる役割を果たし、課題解決型の発信で地域に必要とされる公共メディアを目指します。
- 2023年は関東大震災から100年になります。関東甲信越の各地では一世紀を経た今も地震が頻発し大規模災害に備える情報のニーズは高まっています。関東大震災の教訓を改めて検証し、首都直下地震や都市型災害に備える防災・減災報道の取り組みを強化し、災害時の的確な情報発信に万全を期します。各地域のFM局やケーブルテレビ、自治体などとの協力関係を日頃から築き、各放送局の連携も密にして、いざという時に備えます。
- 統一地方選挙(投票日・2023年4月9日、23日)をはじめ、各種選挙報道に万全の態勢で臨み、有権者の判断のよりどころとなる情報を公平・公正に伝え、正確・迅速な報道に全力を尽くします。環境問題、格差・貧困、少子化や教育問題、人口集中・過疎など、地域社会の課題に自分事として向き合います。放送とデジタルを駆使して地域の声を聞き、問題提起し、意見や情報を募り、番組に反映させる循環を実践することで、課題解決に向けた公共的な役割を果たす地域社会のプラットフォームを目指します。
- 大都会と豊かな自然、さまざまな特徴を持ち合わせた関東甲信越。大河ドラマ「どうする家康」をはじめ全国放送の番組と連携、貴重なアーカイブスも最大限活用し、文化、歴史、自然、風土など各地の多彩な魅力を発信します。また、地域スポーツの振興にも寄与します。NHKプラスを活用して、地域の情報を全国に発信するとともに、地元を取り上げた全国放送を見てもらい、地域の振興につなげます。より視聴者に身近に感じてもらえる公共メディアを目指し、放送やサービスを通して幅広い視聴者とのタッチポイントづくりを戦略的に展開し、共感と納得につなげていきます。

# 各局の重点事項

## 首都圏局

### ■ 確かな暮らしの指針となる首都圏の地域情報をお届けします

エネルギー資源の高騰や物価高は私たちの暮らしを脅かしています。長引くコロナ禍への対応などを巡っては、人々の意見の隔たりも大きくなっています。少子高齢化が進んだ社会の中では、ヤングケアラーなどに代表されるような医療や教育・福祉面で新たな課題が生じています。2023年度も引き続き放送枠を1時間にしてお届けする平日午後6時台のニュース・情報番組では、「暮らしの現場で何が起きているのか」「生活にどう影響するのか」「どんな解決策があるのか」にこだわってお伝えします。また、関東大震災から100年の節目になることから、地域にこだわり防災・減災を考えます。さらにさまざまな地域放送番組では、暮らしを豊かにする情報もお伝えし、確かな暮らしの指針となる首都圏の地域情報をお届けします。

### ■ 放送×デジタル 社会の声に耳を澄まし幅広い世代に伝えます

SNS上には連日、テレビの話題がツイートされているように、テレビとインターネットは、さまざまな課題を共有して議論できる社会的なツールと言えます。首都圏局では、自ら制作・運営している4つの番組やウェブサイト、SNSを駆使して社会や地域の声に耳を傾け、さまざまな課題を掘り起こすとともに、徹底的に取材。その成果を放送とデジタルを使って幅広く共有、課題解決の糸口を探る取り組みを一層進めます。

### ■ 地域に貢献し、地域のみなさんと一緒に地域の良さを見つめなおします

東京・神奈川・千葉・埼玉という人口が多いエリアで、首都圏局が「おすまいの地域の放送局」であることを意識していただけるような放送サービス・視聴者とのタッチポイントづくりに努めます。大河ドラマ「どうする家康」や連続テレビ小説「らんまん」をはじめ、首都圏を舞台にしたドラマや紀行、ドキュメンタリーと連携して地域を盛り上げ、視聴者が多様なコンテンツに触れる機会を、放送やイベントを通して提供します。

## 横浜放送局

### ■ 地域に寄り添ったきめ細かい情報発信を強化し、必要な情報を届けます

ビルが密集する都市部から豊かな自然に恵まれた地域まで、多様な表情を持つ神奈川県各地域が持つ魅力や課題解決に向けた情報を、放送・デジタルなどさまざまな形できめ細かく提供し、コンテンツ発信力も強化します。関東大震災から100年になるのを機に、この100年を見つめ直すとともに、地域のケーブルテレビやコミュニティFMとも連携しながら、首都直下地震や脅威を増す豪雨災害などに備えた“地域の安全・安心”を守る防災・減災報道の強化にもつなげます。

### ■ 地域に根ざした暮らし、文化、スポーツ情報などの発信強化に努めます

子育てや教育など暮らしに密接したテーマに目を向け、暮らしを豊かにする確かな情報を発信して公共メディアとしての役割を果たします。ラジオ第1放送では、“ジャズの街”横浜の魅力を伝える公開生放

送を引き続き実施し、地域とともにある番組作りを進めます。「横浜トリエンナーレ」やサッカーJリーグ30年の節目などと連動し、地域に根ざした文化やスポーツなどの情報発信を強化して地域の活性化につなげます。

## 前橋放送局

- **暮らしを支え、より役立つ情報の発信を強化し、明日への活力を届けます**  
平日午後6時台のニュース・情報番組では、ニュースの深層を読み解く解説コーナーなどを設け、より広くより深いニュースの発信を強化します。また、これまで以上に子育て世代・現役世代の明日の暮らしに役立つ情報を伝えていきます。そして、開局90年となる2023年度を起点に10年先の“地域の未来”を担う力に注目するプロジェクトを立ち上げ、金曜午後7時台の番組で地域再生などの課題の解決を後押しすることで、群馬県の地域活性化に貢献します。
- **地域との“連携”を深め、“公共メディア”としての信頼をより高めます**  
コミュニティFM・ケーブルテレビとの連携を強化し、これまで以上に地域に密着した情報を発信します。特に“安全・安心”に結びつく企画の制作を行うとともに、緊急報道では速やかにライフライン情報などが届けられる体制を整えます。また、県内に約6万人が暮らす外国人との“多文化共生”に向けた情報発信を継続的に行います。人手不足の問題にどう向き合い、外国人材をどう生かしていけばいいのかなど、解決へのヒントとなる情報を発信し、公共メディアとしての価値と信頼を高めていきます。

## 水戸放送局

- **“視聴者が求める情報”を丁寧に発信し、豊かな地域づくりに貢献します**  
茨城県は、依然として続く新型コロナウイルス感染症の流行に加え、地震など各種災害の多発、東海第二原子力発電所の再稼働問題など、暮らしに関わるさまざまな課題に直面しています。一方で、全国に誇れる食材、自然環境、それに科学技術やスポーツなど多方面で活躍する人々と、多彩な魅力にあふれています。こうした地域に一層密着し、“視聴者が求める情報”を徹底追求して、平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午前11時台および午後7時台の番組などで丁寧に伝えていくほか、全国発信も積極的に進めることで、諸課題の解決と豊かな地域づくりに貢献します。
- **多様な手段による情報発信を強化し、より支持される公共メディアを目指します**  
茨城県で唯一の県域テレビ局として放送コンテンツのさらなる充実を図るとともに、放送と連動したインターネット・SNS発信を一段と強化し、テレビ離れが進むとされる若い世代など幅広い人たちに情報を届けきります。また、地理的要因から県の南部や西部を中心に東京の放送を視聴する世帯が少なくない実情も踏まえ、平日午後6時台のニュース・情報番組の見逃し配信を開始したNHKプラスの周知に引き続き努めるなど、多くの視聴者に“公共メディアの価値”を実感してもらえるよう取り組みます。

## 千葉放送局

- **千葉県の課題と向き合い、安全・安心に役立つ情報を迅速に、よりきめ細かく伝えます**

人口が急増する県北西部と第一次産業比率の高い県東部・南部などと大きく異なる地域性や三方海に囲まれた豊かな自然を巡るさまざまな課題について視聴者に寄り添い、ともに考え、地域活性化を目指して解決へのヒントを探ります。また、台風や大地震への備えに向けて、全局体制で放送やデジタルを連動させてきめ細かい防災・減災情報を届けるとともに、自治体や県内の民放テレビ、ケーブルテレビ・FM各局との関係をより一層強化し、県民に安全・安心の情報をいち早く多様な手段で提供します。
- **開局80年を契機に千葉県の魅力をより広く発信し、県民の人たちとの結びつきを強めます**

開局80年となる放送局の信頼感と存在感を一段と高めるため、子どもや若者、現役世代、高齢者まで幅広い世代の意向を丁寧に把握し、放送やイベント、サービスに反映するとともに、敷地内の花壇である「NHK千葉ガーデン」を活用して公共メディアとして地域との接点を増やします。また、千葉県誕生150周年にあわせて、千葉県で起きた過去の出来事や経験を踏まえ、未来に向けた県内54市町村のそれぞれの魅力を発掘し、県民と地域をつなぐハブ役としての役割を果たします。

## 宇都宮放送局

- **“より詳しく”“より親しみやすく” デジタル連携やメディア連携を生かして情報発信の充実に努めます**

平日午後6時台のニュース・情報番組では、2022年度から始めた地域課題解決型の企画をさらに充実させて、地域の課題や魅力をより詳しく、より親しみやすい形で伝えて視聴者の期待に応えます。取材した記者やディレクターたちが放送では十分に伝えきれなかった内容を詳しく伝えるウェブ記事の発信にも力を入れて、放送とインターネットの連携を深めることで地域の情報発信を強化します。

また、防災・減災においては、各地域のケーブルテレビとの協力関係を強めて、公共メディアとして、いざという時に備えます。統一地方選挙をはじめ、選挙報道に万全の態勢で臨み、県内他メディアとの協力関係も生かして、正確・迅速な報道に全力を尽くします。
- **地域の話や魅力を広く届けて、“栃木の良さを実感できる”放送局を目指します**

世界遺産「日光の社寺」をはじめとする歴史文化や豊かな自然に恵まれた栃木県。県が誕生して150年を迎える2023年、地域の魅力の発信をさらに強化します。金曜午後7時台の地域放送番組は、多彩なラインアップをそろえて、“栃木の良さを実感できる時間帯”として浸透を図ります。また、平日午後6時台のニュース・情報番組で県内各地のありし日の姿を映した貴重なアーカイブス映像は、特集番組やSNS発信にも活用し、文化、歴史、自然、風土といった県内の多彩な魅力を広く届けていきます。さらに、地域スポーツの発信や全国放送番組の制作、大河ドラマ「どうする家康」をはじめとする番組との連携などを通じて、地域の魅力を県内外に発信します。これらの取り組みを通して開局80年となる放送局の存在感を一段と高め、地域の視聴者の期待に応えていきます。

## さいたま放送局

- **“彩の国 埼玉”の魅力をより幅広い視聴者に届けます**

“地元目線”を大切に、視聴者の新たな発見を促すコンテンツの制作に取り組みます。全国で3番目に多い63の市町村を有する埼玉県は、都心のベッドタウンとして首都圏の一角を構成する一方、武蔵



野や奥秩父山塊など緑豊かな自然にあふれています。埼玉県多彩な魅力を地域のFM局やケーブルテレビ、自治体などと協力して幅広い視聴者のみなさまにきめ細かく発信し、地域情報のハブとしての役割を果たします。

#### ■ 地域の課題に寄り添い、解決に役立つ情報を発信します

地域が抱える課題を視聴者と一緒に考え、改善に向けたヒントが得られる情報の発信を目指します。少子高齢化や外国人との共生、いじめや貧困など子どもたちが直面する課題などについて、テレビやラジオだけでなく、インターネットやSNS、イベントも活用して視聴者との結びつきを強め、ともに解決に向けた道筋を探ることで、地域の活性化に一層貢献します。また、帰宅困難者対策や局地的大雨への備えなど、県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に全力で取り組みます。

## 長野放送局

#### ■ 信州の魅力や課題を掘り起こし、多様化する県民ニーズに応えます

広大な面積の長野県では、文化や関心、課題などが土地ごとに大きく異なり、メディアに対する地域や世代ごとのニーズも多様化しています。県内各地の魅力をきめ細かく取材するとともに県民が日頃感じている疑問や課題を募る「疑問解決コーナー」などを通して課題を丁寧に掘り起こします。こうした情報を平日の午後6時台、金曜午後7時台に加えて、2022年度にスタートした土曜午前7時台と午後11時台の地域放送番組、さらにラジオやデジタルも最大限活用して発信し、多様化する県民ニーズに応じていきます。

#### ■ プロジェクトなどを通じた多彩な発信により、公共メディアとしての存在感を高めます

長野県の豊かな食文化を再発見するプロジェクトを通じた発信や、大河ドラマ「どうする家康」をはじめとする全国放送番組との連携などにより、信州の文化や歴史、自然などの魅力を地域はもとより全国に広く発信していきます。さらにサッカーや野球、バスケットボールなど地域に根づいたスポーツの話題を継続的に取り上げ、県民の期待に応えます。いずれも、放送・デジタル発信と連動したイベントなど、視聴者のみなさまとの接点を広げる取り組みを展開し、地域とともにある放送局として、公共メディアの存在感を高めていきます。

## 新潟放送局

#### ■ 地域の課題に寄り添い、ともに考え、改善に向けて役立つ情報を発信します

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を巡る動き、後継者不足と消費低迷、米価下落に加え肥料代高騰で厳しさを増す米づくり、新型コロナウイルスと物価高騰で深刻な影響を受けている地域経済、毎年2万人前後減少している人口。新潟県が直面するこうした課題に向き合い、ともに考え、県民が改善に向けたヒントを得られるような情報の発信に努めます。地域で活動する人々に寄り添い、困難に立ち向かう取り組みを積極的に取り上げ、応援していきます。大雨や大雪、地震の被害を少しでも抑えるため、災害時はもちろん、平時から防災・減災につながる情報発信に力を入れます。放送と連動したデジタルの発信にさらに力を入れ、視聴者が詳しい情報を必要な時に見られるよう取り組みます。

- **地域のスポーツや話題、魅力を発信して、新潟の活性化に貢献します**

サッカーJ1復帰の悲願を果たした「アルビレックス新潟」、世界遺産への登録を目指す「佐渡島の金山」、佐渡に生息する特別天然記念物「トキ」、2023年5月に新潟市で開かれる G7(主要7か国)財務相・中央銀行総裁会議など地域の人々が誇りに思う話題を全国に向けて積極的に発信します。新潟県の豊かな食材や美しい自然、ものづくりや伝統芸能を多角的に取材し、その魅力や奥深い世界を4Kの超高精細映像も駆使して紹介することで、観光の振興や産業の発展、自然保護や文化の継承など地域の活性化に貢献します。

## 甲府放送局

- **県民が求める“見たい”“知りたい”に応え、地域発信の質を強化します**

進む高齢化と人口減少、新型コロナウイルス感染症流行の長期化や物価高による地域経済への影響、そして果樹栽培にも大きな変化をもたらしている温暖化への対応などの山梨が直面する課題。「信玄公祭り」に代表される地域のイベントや地元スポーツチームの活躍など、山梨の魅力や山梨を元気にする情報。県民の“見たい”“知りたい”に応え、地域発信の質を高めます。放送だけでなくデジタルでも、役立つ情報、魅力的なコンテンツを発信します。

- **世界に誇る富士山の魅力を多角的に発信します**

世界に誇る日本のシンボル、富士山。2023年は世界文化遺産の登録から10年となる節目の年です。富士山の豊かな自然や歴史、古くから伝わる信仰など、次世代に残していくべき魅力をニュース企画や番組をはじめ、インターネットやSNS、イベントなども活用し、多角的に発信していきます。また、富士山の魅力だけでなく、観光や噴火への備えなどの課題も取り上げ、地域の活性化に貢献するとともに地域に暮らす人々の安全・安心に寄与します。富士山のテーマには静岡放送局とも連携して取り組んでいきます。